

✓ファイル ③

株式会社府中テンパール

労働省から重度障害者多数雇用モデル事業所として認定を受け、これまでに職場定着推進チーム雇用開発協会賞や労働大臣賞を受賞し、現在も積極的に障害者雇用を進めている企業



企業情報

昭和40年（1965年）創業。配線用遮断器類・漏電遮断器類と住宅用分電盤など、電気の安全に必要とされる製品を製造する企業。



PROFILE

- ◆所在地 広島市安佐北区三入南1-9-16
- ◆代表者 代表取締役 松浦 健司
- ◆電話番号 (082) 818-5511
- ◆常時雇用労働者数 169人
- ◆障害者雇用数 14人
(知的障害者8人、身体障害者5人、精神障害者1人)

松浦管理部長さんにインタビュー

Q. 随分前から障害者雇用に取り組まれているとお聞きしましたが。

弊社は、以前から時代が求めるノーマライゼーションを理念として掲げており、障害者と健常者が一緒に働いている職場の光景が普通だと思っています。現在、身体障害者（体幹機能障害・下肢障害）2名、知的障害者8名、精神障害者1名、聴覚障害者3名を雇用していますが、社員は普通に受入れており、ほとんどが10年以上の勤務者で、中には23年目を迎える知的障害者の方もいます。雇用するまでの経緯は人それぞれで、県立広島北特別支援学校や近隣の福祉事業所、吉備高原障害者職業能力開発校（吉備リハ・岡山県）などから紹介され、実習を行って適性を見て採用を決めています。時代の流れとともに、モノづくりが高度化し、そのほとんどが海外で生産・加工する形にシフトしているので、障害者にどのような仕事をしてもらえばいいのかわかることもありません。



松浦管理部長さん

Q. 障害者はどのような仕事をされていますか。

障害者に対する知識はなく、対応方法はわからないのですが、どのような仕事があるかはその人に向いているかを実習を見ればわかります。先ほどもお話しましたが、実習を行ってその人の適性を見て、製造ラインに入れて部品の組立てをする、単純な組立作業をする、決められた部品を作業する場所まで運搬するなど、仕事の切り出しをしています。聴覚障害者

は30年前くらいから雇用をしていますが、勤が良い人が多く、こちらが指示したこと以上の仕事をしてくれています。また、知的障害者の方は、平成に入ってから採用を始めましたが、ほとんどの人は集中力が高く、ミスが少なく、立派な戦力となっています。

Q. 障害者雇用に関して何か決まりごとはありますか。

一人で交通機関を使って通勤可能な方が条件となっています。親が通勤の補助をするから雇用してもらいたいという声を聞きますが、将来的にずっと親が補助することはできないので、いち社会人として、自立するために最低限必要なことだと考えています。

Q. 障害者雇用で、配慮されていることがありますか？

「働いていただくための配慮はするが、仕事においては特別扱いはしない」との考えから、例えば療育手帳Aの人は、製造ラインには入れず、荷物の運搬など単純な業務についてもらっています。また、療育手帳Bの人は、配慮する点は様々で、製造ラインに入っても十分対応できる人もいれば、製造ラインのスピードにはついていけない人もいますので、能力に応じて単純作業や間接的部品加工を行ってもらっています。作業中の工程を本人の能力に合わせて減らすこともあります。車いすの人は、なるべく作業場から動かないですむように、手の届く範囲内に仕事に必要な道具を置くようにし、机の高さを車いすの高さに合わせて手製の台座などをかませ調整しています。障害者を専門的にサポートする社員はおらず、仕事以外のことは健常者と同じで特別扱いはしていませんが、高齢になって退職された後の人生については、会社が責任を持って支援をするべきと思っていますので、過去も含め定年を迎えた社員に対しては、次の行き場となる福祉事業所を紹介しました。これからも何かあれば支援したいと思っています。

Q. 今後の課題と新たに障害者を雇用しようとする企業へのメッセージをお願いします。

その人に合った仕事を、一つに絞らず幅広く担当してもらうことで、働く人の能力を引き出せる場をつくり、結果として障害者の成長にもつなげ、会社の発展にもつなげたいと思っています。

これからも、お客さまに満足していただくため、安心・安全をお届けするだけでなく、ノーマライゼーションの理念も大事にし、障害者がいるのが当たり前の職場づくりを心がけていきたいと思えます。

職場訪問

障害者の方は、部品組立・加工等の業務に毎日朝8時30分から午後5時15分まで勤務しています。昼休憩45分と午後に10分間の休憩時間を取ることができます。

